**第１８回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技**

**九州地区予選大会実施要領**

**１　競技規則**

　　平成３０年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（一般財団法人日本障害者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

**２　競技種目**

　　男子６人制及び女子６人制の２種目とする。

**３　チームの編成**

1. チームの構成は、監督１名、コーチ１名、マネージャー（手話通訳者）１名及び選

手１２名以内とする。

②　監督・コーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として

出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督・コーチを含めて１２名以

内とする。

③　チームの編成が困難な県・指定都市においては、県または指定都市の選手が、

　　 指定都市または県チームの選手として参加を認める。この場合、県と指定都市におい

て、手続きなど事前に十分競技すること。

**４　競技方法**

　①競技はトーナメント方式によるものとする。ただし、出場チーム数により変更する場合がある。

　②全試合３セットマッチとする。

　③１セット２５点のラリーポイント制とし、２セットを先取したチームを勝ちとする。

　　なお、得点が「２４対２４」の同点となった場合、それ以降は２点リードしたチームがそのセットの勝者となる。

　④第３セットは、２５点制で行い、コートの交代はいずれかのチームが１３点先取したときに行う。

　⑤試合は、ワンボールシステムで行う。

**５　競技服装**

　　リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と区別できるユニフォームを着用す

ること。

**６　試合球**

　　一般財団法人日本バレーボール協会検定１８枚張り５号球（人工皮革・カラーボール）

　 とする。

**７　組合せ**

　　組合せは、開催される実行委員会において、主催者が関係者立ち会いのもとに代理抽

選の上、決定する。

８　開会式・表彰式

　①開会式は、大会当日試合開始前に競技会場で行う。

　②表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

**９　その他**

　①競技開始前に監督会議を行う。（時間及び場所は別途通知する。）また、監督会議の場において、申し合わせ事項を設けることができる。

　②試合開始前・セット間及び終了後の手順はプロトコールのとおりとする。

　③試合開始は、とくに時間の指定のあるものを除き、追い込み方式で行う。なお、同チームの試合が連続する場合は、１５分間の休憩の後プロトコールに入る。

　④オーダー用紙は、キャプテンがトスをするときに提出する。

　⑤公式練習からエントリーされた者だけが競技場に入場できる。

　⑥負傷の原因となるピン・指輪・腕輪・かぶりもの・その他金属装身具等を身に着けて競技してはならないが、自分の責任において眼鏡を使用することができる。

　⑦参加選手は事前に健康診断を受けて来ること。競技中に選手が負傷した場合、応急処置は行うが、それ以後の責任は負わない。

　⑧主将は、ジャージ色と異なった色の幅２㎝のマークをユニフォームの胸部の番号の　　下に明確に付けること。

　⑨監督、コーチ及びマネージャー（手話通訳者）は、規定のマークを左胸部につけること。

　なお、未着用の場合は、ベンチに入ることを制限することがある。

　⑩荒天時他不測の事態が生じた場合の取り扱いは、主催者において別途定める。

なお、中止となった場合は、抽選により九州ブロックの代表を決定する。

--------------------------------------　きりとりせん　-------------------------------------

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 第１８回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技九州地区予選大会 | | | | |
| **参加申込書（個人用）** | | | | |
| ふりがな |  | 性別 | 区別 | 連絡方法 |
| 氏名 |  | □　男 | □　選手 | FAX |
| □　女 | □　役員 | 携帯 |
| 生年月日 |  | 年齢 | 歳 | |
| 身体障害者手帳 | 手帳番号 | 第　　　　　　　号 | 総合等級 | 級 |
| 障害名 |  | | |
| 住所 |  | | | |
| 弁当 | ５月１２日（土）　８００円　　　　□　要　　　　□　不要 | | | |

＊申込書に身体障害者手帳（顔・名前・障害名・住所）のコピーを添付して下さい。